

令和6年8月27日

生駒市議会議長 吉村善明様

厚生文教委員会委員長 中嶋宏明

委員会調査報告書

当委員会で調査した事件の調査結果について、生駒市議会会議規則第107条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 派遣期間 令和6年8月1日(木)
- 2 派遣場所 生駒中学校、生駒北小中学校、生駒東小学校
- 3 事 件 学校におけるプール施設と授業の在り方について
- 4 派遣委員 中嶋 宏明、伊木 まり子、恵比須 幹夫、片山 誠也
加藤 裕美、辰巳 綾子、森 雄亮、高杉 千代子
- 5 概 要 別紙のとおり

厚生文教委員会視察報告書

視察先	生駒中学校、生駒北小中学校、生駒東小学校
施策等の名称	学校におけるプール施設と授業の在り方について（テーマを定めた調査）
視察の目的	<p>学校プール施設は、高度経済成長期に一斉整備されたことから、設備等の耐用年数を迎え、大規模改修を必要とする施設が全国的に増加している。</p> <p>また、少子化による児童・生徒数の減少に伴い、授業等における使用頻度が低下している一方で、プール施設の維持・管理経費や授業実施に係る教職員の負担は増加傾向にあり、プール施設と授業の在り方について見直しが求められている。</p> <p>よって、本市の学校におけるプール施設の現状を把握し、調査の参考とすることを目的に、市内小中学校への視察を実施した。</p>
施設等の概要	<p>○生駒中学校</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・昭和46年に竣工し、築53年経過している。 ・令和5年度に、約1600万円かけて改修済み。 ・毎年7月頃～9月中旬までの利用 <p>○生駒北小中学校</p> 

	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和63年に竣工し、築36年経過している。 ・小中一貫教育の開始にあたり、平成28年度に改修済み。 ・6月～7月初旬まで小学生が利用 ・7月初旬～7月下旬まで中学生が利用 <p>○生駒東小学校</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・昭和49年に竣工し、築50年経過している。 ・現在まで、大規模な改修はされていない。 ・6月中旬～7月中旬までの利用
委員の意見等	<p>【生駒中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教室から、移動して更衣し終わるまで、また、プールの授業後も教室に戻るまでに、20分以上かかると思われた。 ○ プールまでの行程、更衣室、トイレの状況から、熱中症やその他の状況で体調不調をきたした生徒の発見やケアが遅れる可能性があると思われた。 ○ 更衣室やトイレに緊急連絡用ブザー等の設備はなかったように思う。 ○ 屋外にある茂った樹木下の見学席は蜂や蚊などの被害も心配される。 ○ 上記のことから、教育環境としては良好とはいえない。 ○ 地球温暖化の影響もあり、年々気温が上昇している。熱中症の危険もあり、屋外でのプール授業や部活は制限されていくと思われる。 ○ 課題はあるが、プールの塗装をやり直したところであるので、当面、課題に適宜対処しつつ利用し、将来的には屋内温水プール新設・他校との共同利用・地域開放などを検討すべきと考える。

【生駒北小中学校】

- 熱中症やその他の状況で気分が悪くなった生徒の発見やケアは生駒中学校に比べ、適切に対応できると思われた。
- 旧生駒北中学校のプールを利用したとのことであったが、平成28年開校した施設であるので配置や付属施設など全体として良好な施設と思われた。
- 屋外プールとしては周囲には木々があるものの、生駒中学校のようにプールサイドの観客席に雑草が繁茂した状況ではなく、トイレも複数の洋式便器があるので、学校・教職員の負担を減らすしくみをつくることできれば夏季休暇中の水泳指導や地域への開放も可能な施設と思われた。

【生駒東小学校】

- 熱中症やその他の状況で気分が悪くなった生徒の発見やケアは生駒中学校に比べ、適切に対応できると思われた。
- 屋外プールとしては周囲に松や百日紅など庭木の植え込みがあり、明るく広々として開放感のある施設という印象。
- 学校・教職員の負担を減らすしくみをつくることできれば、夏季休暇中の水泳指導や地域開放（市民プールとして）にも供せると思われた。
- 当面は多額の費用負担の発生しない範囲で維持管理し利用可能と思われる。

【全体】

- プール施設本体の改修、ろ過機の更新、プールサイド施設の更新などの状況を考え合わせた上、各学校単位もしくは、地域ブロック単位で将来計画を煮詰めていく必要がある。
- 年間の授業実施回数や各学年のクラス数から、現状の使用頻度で民間施設を活用することは、費用や移動の面から難しいのではないか。
- プールに入る時間は10時間という目安はあるものの、利用する期間は短期間であり、先生方による維持管理に対する負担、水質管理業者への委託、改善修理、水道代にコストがかかる。
- 熱中症や衛生管理、不慮の事故防止などが懸念される。
- プールに併設される更衣室は、エアコンが入っておらず、

	<p>温室状態であることからして、熱気による体調不良や感染症対策なども考慮する必要がある。</p> <p>○ 泳ぎ方をマスターしたい子はスイミングスクールに通う状況の中、水泳が得意といえない先生方が指導する可能性があり、教職員の精神的負担は大きいと思われる。</p>
--	---